

# 滝高フロンティアサイエンス通信

海外研修特集号 [平成28年8月18日~25日] 第13号

## マレーシアレポート 7日目(8月24日)

この日は、今回の研修で最後の活動日で、一番大切な活動がある日でした。

この日の最初の活動は、トンクアブドルラーマン国立公園という場所の海で、たくさん遊んで思い出を作りました。

船着場からビーチへ行くのに、ボートで行きました。最初は船酔いするのではないかと心配でしたが、想像以上にボートのスピードが出て、酔っている暇がありませんでした。波が来るたびにボートが大きく揺れ、とても楽しかったです。



海につくと、浅瀬でも多種多様な穏やかな海洋生物がみられ、日本の海とは全然違うなと思いました。シュノーケリングでも間近で生物を見ることができ、とても充実した活動でした。

しかし、沖のほうへ行くと、浅瀬とは一転し、凶暴な魚に襲われ、みんな足に傷を負ってしまいました。

一通り遊び終わると、最後にビーチ内のシャワーを浴びて、またボートに乗って船着場まで帰りました。

そのあとは、船着場にある小さなお店で、みんなアイスクリームを食べました。このころにはもう、マレーシアでの買い物も慣れていたので、みんなスムーズに済ませていました。

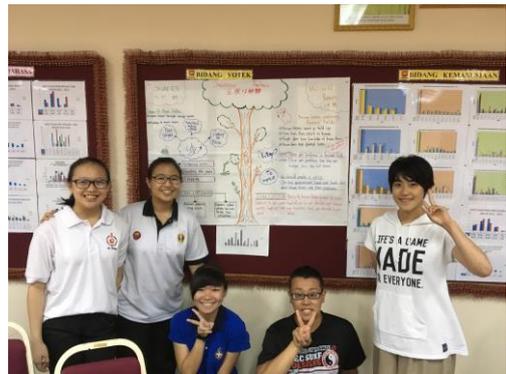
遊んだあとのアイスクリームはとてもおいしかったです。

アイスクリームを食べ終わると、今回の研修で最大の重要さを誇る活動である現地高校生とのポスター発表をしに、オールセインツ高校へ行きました。

前日のサバ大学での発表のまとめを環境について発表するチームと



危険な生物について発表するチームの



2チームに分かれて発表しました。

英語でコミュニケーションを取りながら、ポスターを作成するのにとても苦労しましたが、何とか2チームとも完成させることができ、英語で発表することができました。

発表が終われば、残念ながらホストシスターやフラガー、交流してきた現地高校生とのお別れのときがやってきました。

みんな今回の研修の感想を言って、最後に集合写真を撮り、現地高校生のみなさんとお別れをしました。



(文責 1C 堀之内)